

自然関連の財務情報開示「TNFD開示提言第1版」の公表を受けて

TNFD対応支援サービス「FANPS簡易診断」他のご案内

企業における経営課題として、気候変動におけるネットゼロの対応に加え自然関連におけるネイチャーポジティブに向けた取組みに関心が高まっています。また既に多数の企業が取り組んでいる気候関連の財務情報開示（TCFD開示）に加え、2023年9月に自然版の「TNFD開示提言」が公表され、今後企業は対応を迫られることとなります。今般、MS&ADグループが参画するネイチャーポジティブ金融アライアンス（FANPS）では、「TNFD対応支援サービス」の提供を開始し、まず自社のTNFD開示に向けた対応状況が分かる「FANPS簡易診断」サービスをリリースしました。ぜひご活用ください。

TNFD対応支援サービスのステップ

1 FANPS簡易診断（無償）

Web上で設問に回答いただき、TNFDが開示を推奨する14項目について貴社の対応状況を診断し、3種のレポートを送付いたします（レポート見本は裏面をご確認ください）

FANPS簡易診断を実施いただいた企業様を対象にご招待

2 オンラインセミナー（無償）

TNFDタスクフォースメンバーの原口真をはじめ、自然資本・生物多様性のリスク分析に長年関わってきたエキスパートより、TNFD開示提言に基づいた企業における自然関連の取組みの進め方を解説します



▶ **11月27日（月） 15:00～17:00（予定）** ※詳細はご招待メールでご案内いたします（当日ご参加いただけない方には、セミナーの録画をご案内いたします）

3 ワークショップ（2回分参加費 5万円）

TNFD 開示提言の解説に加え、LEAP アプローチのインプットや演習を行い、同アプローチに基づく自然関連リスク・機会の分析方法を約2時間×2回のワークショップで学びます



▶ **初回は1月中旬を予定（1回約2時間）**
※詳細はFANPS簡易診断を実施いただいた企業様にご案内いたします



FANPS簡易診断の掲載先

【スマートフォン・タブレット利用】

【PC利用】

公式HPより「簡易診断はこちら」をクリック

FANPS

検索



お問い合わせ

上記公式HPのCONTACTからお問い合わせください。

FANPS事務局である(株)日本総合研究所よりご回答させていただきます。

TNFDとは

TNFDとは、自然関連の財務情報開示基準のことで、2023年9月に開示基準の第一版が公表されました。事業会社や金融機関は、この基準に沿って自然への依存や影響（インパクト）をどのように評価し、それに基づいて将来のリスクや機会をどのように管理するかを開示することになります。TCFD（気候変動の財務情報開示基準）とともに、今後日本企業はネイチャーポジティブに向けて、自然に配慮した事業戦略を自社の経営計画に組み込み、これらを適切に情報開示出来るか問われることとなります。

FANPS簡易診断でお送りする3種のレポート

レポートは回答完了後、24時間以内にメールでご送付致します
※フリーメールには送付不可

① 総合評価：

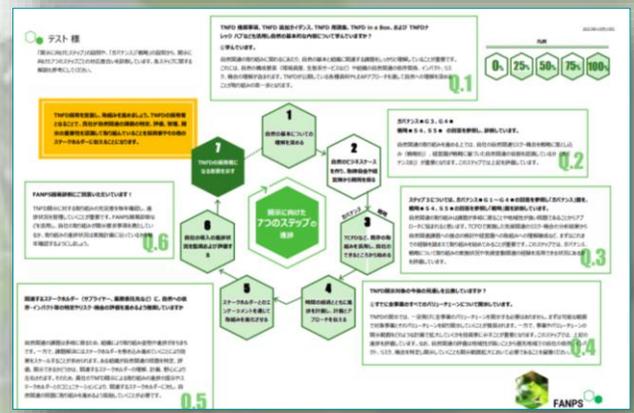
TNFDが開示を推奨する14項目ごとに、貴社の対応度合い（高・中・低の3段階評価）を可視化した一覧表です。末尾に今後の対応策に関する総括コメントを記載しております。

② 開示項目別レポート：

個々の設問の回答に対して、今後の取組みの方向性や参考情報を詳しく記載し、具体的な取組みのヒントを提供しております。

③ “開示に向けた7つのステップ”の進捗：

TNFD Getting Startedのガイドに沿った7つのステップの進捗度を評価し、可視化しております。



FANPSとは

SMBCグループ、MS&ADホールディングス、日本政策投資銀行、農林中央金庫の金融機関4社が、企業における事業活動のネイチャーポジティブ転換を促進・支援することを目的に、2023年2月28日に設立したアライアンス。正式名称は「Finance Alliance for Nature Positive Solutions (略称：FANPS)」。



<https://www.fanps.jp/>

